

## 第73回全国労働衛生週間

全国労働衛生週間は、昭和25年の第1回実施以来、今年で第73回を迎えます。国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保に大きな役割を果たしてきました。

近年、労働者の健康をめぐる状況は、過労死等事案の労災認定件数が801件（2021年度）となっており、仕事や職業生活に関する強い不安、悩みやストレスを感じる労働者は依然として半数を超えています。

こうした状況の中、過労死等の防止においては「働き方改革」の推進に伴い、会社と労働組合の代表で協議を重ね、長時間労働抑制対策を推進しています。また、メンタルヘルス予防では、「メンター制度」の導入や産業医による面談等を実施し、健康障害予防対策を強化しています。

今年度の全体スローガン「あなたの健康があってこそ笑顔があふれる健康職場」のもと、全国労働衛生週間を展開し、事業場における労働衛生意識の高揚を図るとともに自主的な労働衛生管理活動を促進してまいります。

